

らしく、  
はたらく、  
ともに

JEED

パネルディスカッションⅡ

アセスメントを活用した就労支援の今後のあり方について

# 自己決定を支え、自己理解を深めるアセスメント ～実践している取組・工夫～



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

*Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers*

障害者職業総合センター職業センター開発課

主任障害者職業カウンセラー

古野 素子

# はじめに

## ○自己紹介

2001.4～障害者職業カウンセラーとして全国7か所(神奈川、富山、滋賀、京都、大阪、東京、山梨)の地域障害者職業センターで勤務。  
その他5年間、障害者職業総合センター職業センターにて、発達障害者、高次脳機能障害者、精神障害者の就労支援に係る支援技法開発に携わる。

## ○地域障害者職業センターでのアセスメント

地域障害者職業センターでは、就職や復職、雇用継続を目指す障害者に対し、**面談、模擬的就労場面、職場実習や実際に働く状況の観察**など多様な場面を活用してアセスメントを行っている。

# 本日の話題提供



「自己決定を支え、自己理解を深めるアセスメント」を  
障害者職業カウンセラーはどのように工夫し、取り組  
んでいるか？



決まった型はないが…

日頃の支援を振り返り、実践の中で行っていること、  
工夫していることを言語化してみたい。



# アセスメントの順序と構成および工夫点

## ①アセスメントの目的の共有

◆支援者にとって…

対象者の能力や状況を把握する大事な機会

アセスメント

◆対象者自身にとって…

「自分のことを知る」ことができる大事な機会

対象者  
ご本人の  
思い

「できること、苦手なことを知りたい」  
「仕事で強みにできる、セールスポイントを知りたい」  
「ミスや失敗を繰り返したくない」  
「自分のことを会社に説明できるようになりたい」

POINT

「何のためにアセスメントを行うのか」  
「どんなことを一緒に確認していくか」



ご本人の思いを聞いて  
相談ですりあわせる



**工夫点  
視覚化**

図1、2、3のようなシートを活用したり、メモに書き出して  
 今、把握できていること  
 未確認のこと  
 これから一緒に確認できるとよいこと  
 視覚化して整理し、本人と共有してスタートラインに立つ

ワークシート

セールスポイント	苦手なこと	対処していること	配慮を得たいこと
セールスポイントあげられない...	.....	苦手なことはいっぱい。対処は試したことなく空白	.....
	.....		.....
	.....		.....
	.....		.....
	.....		.....

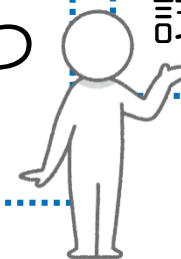
図1 目標確認に活用するワークシート

参考：障害者職業総合センター職業センター  
 支援マニュアルNo.13  
 「ナビゲーションブックの作成と活用」  
 P68掲載 ワークシートを活用



「できることを一緒にみつけましょう」

「自分で対処してみて有効なことはある？ 試してみましょう」



参考

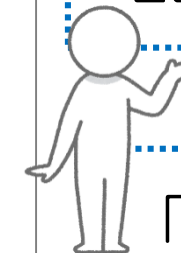
障害者職業総合センター職業センター  
支援マニュアルNo.10

「発達障害者のための  
リラクゼーション  
技能トレーニング」  
P112掲載



ストレス対処整理シートを活用

「低～中レベルの疲れや  
ストレスのサインがあ  
る？気づける？一緒に  
確認してみましょう」



「仕事を休む前にとれ  
る対処はある？  
試してみましょう」

ストレス対処整理シート（ストレス温度計） ※導入版（WSSP開始2週目）

【資料1】

記入日 年 月 日 氏名 Aさん

●ストレス対処整理シート(ストレス温度計)は、自分のストレス・疲労のサイン、強さ(レベル)、対処方法を整理するためのものです。プログラムを通じて、「身体や気持ちの変化」、「対処方法」を確認しましょう。  
●このシートをもとに、自分の身体や気持ちの状態に応じた対処方法を行いましょう。ストレス・疲労のレベルが低い段階で対処方法を行うようにしましょう。

・激しい首、肩の痛み  
・眠れない(痛みで)  
・吐き気  
・激しい頭痛

100  
高  
50  
中  
0  
低

ストレス・疲労のレベル

・休んで休養をとる。  
・寝る。

あまり書けませんでした。

低～中程度のサインが自分ではわからない。  
低～中程度の疲労への対処がわからない。

ストレス・疲労の対処方法の例

- 深呼吸する
- 数を数える
- 音楽を聴く
- 鼻歌を歌う
- 本を読む
- マンガを読む
- 絵を描く
- ゲームをする
- 静かな場所で休む
- 散歩をする
- コーヒーを飲む
- 入浴する
- 好きな音楽を聴く
- 好きな食べ物を食べる
- その他

ストレス・疲労のサイン      ストレス・疲労の対処方法

図2 ストレス対処整理シート(ストレス温度計)

## Ⅱ. 就労のための基本的事項

「作業場面で指示に基づいていくつかの作業を体験し、一緒に確認しましょう」

### 【 作業遂行 】

#### 推奨項目

チェック項目

<input checked="" type="checkbox"/>	<b>推-1</b>	指示された手順に従って作業する
-------------------------------------	------------	-----------------



選択解除		A	B	C	?	
<input checked="" type="checkbox"/>	① 対象者の自己評価	○ 指示された手順に従って作業できる。	○ 具体的に指示されれば、指示された手順に従ってほしい作業できる。	○ 具体的に指示されても、指示された手順に従えない。	● 未経験・未確認・不明	未経験・未確認
<input checked="" type="checkbox"/>	② 協同評価: 支援・配慮なし	○	●	○	○	ストレングスになる
<input type="checkbox"/>	③ 協同評価: 支援・配慮あり	○	○	○	○	

#### 評価の方法

面接による聞き取り  関係者からの情報収集  ワークサンプル  場面設定法(作業場面)  職場実習  検査  その他(詳細を下の欄に記入)

#### 評価の理由(ストレングスの内容を含む)

(本人)自分なりに指示通り作業しているつもりだが、「指示された手順に従って作業できる」といえるかは自分ではわからない。  
(支援者)単発の職業評価では、指示どおりに概ねできるが、作業の内容によってミスが生じるものもあった。指示理解力なのか注意力の影響かは今後確認したい。

#### 支援・配慮の内容

チェック項目



参考

### ◆就労支援のためのアセスメントシート

障害者職業総合センター  
調査研究報告書 No.168  
就労困難性（職業準備性と就労困難性）の評価に関する調査研究

マニュアル、教材、ツール等No.78  
就労支援のためのアセスメントシート（ご案内）

図3 就労支援のためのアセスメントシート(一部抜粋)

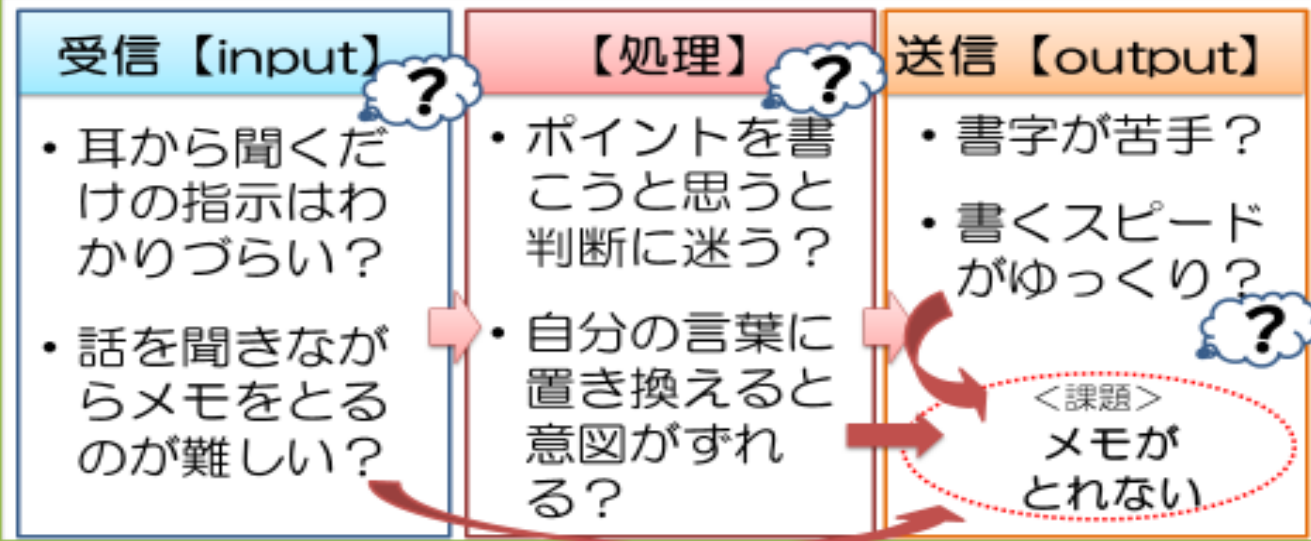
# ②-1 学ぶ・知る

## 手順書作成技能トレーニングで確認したいこと



「メモがとれない」(本人の見立て)の背景にある特性は？

受信・処理・送信のどの特性が影響しているのか？仮説を立てる



POINT

何らかの課題がある場合

- 受信(input)
- 処理(思考・判断)
- 送信(output)

どの部分の特性が作業やふるまい等に影響するのかをアセスメントするために、知識や情報を付与した上でご本人の考えや行動を確認する。



工夫点

グループワークの活用

他の人の困り感や考え、どう工夫しているかを聞ける場は、「そんな考え方もあるのか」「自分も同じような特徴がある」等気づける機会になる



## ②-2 体験する (試す・確認する)

学ぶ・知る  
(講座等)

振り返る  
(相談)

**体験する**  
(試す・確認する)

**工夫点**  
**安心して**  
**試せる機会**  
**をつくる**

できること  
の確認だけでなく  
 辛く感じる、難しいと感じる  
ことや環境がわかること

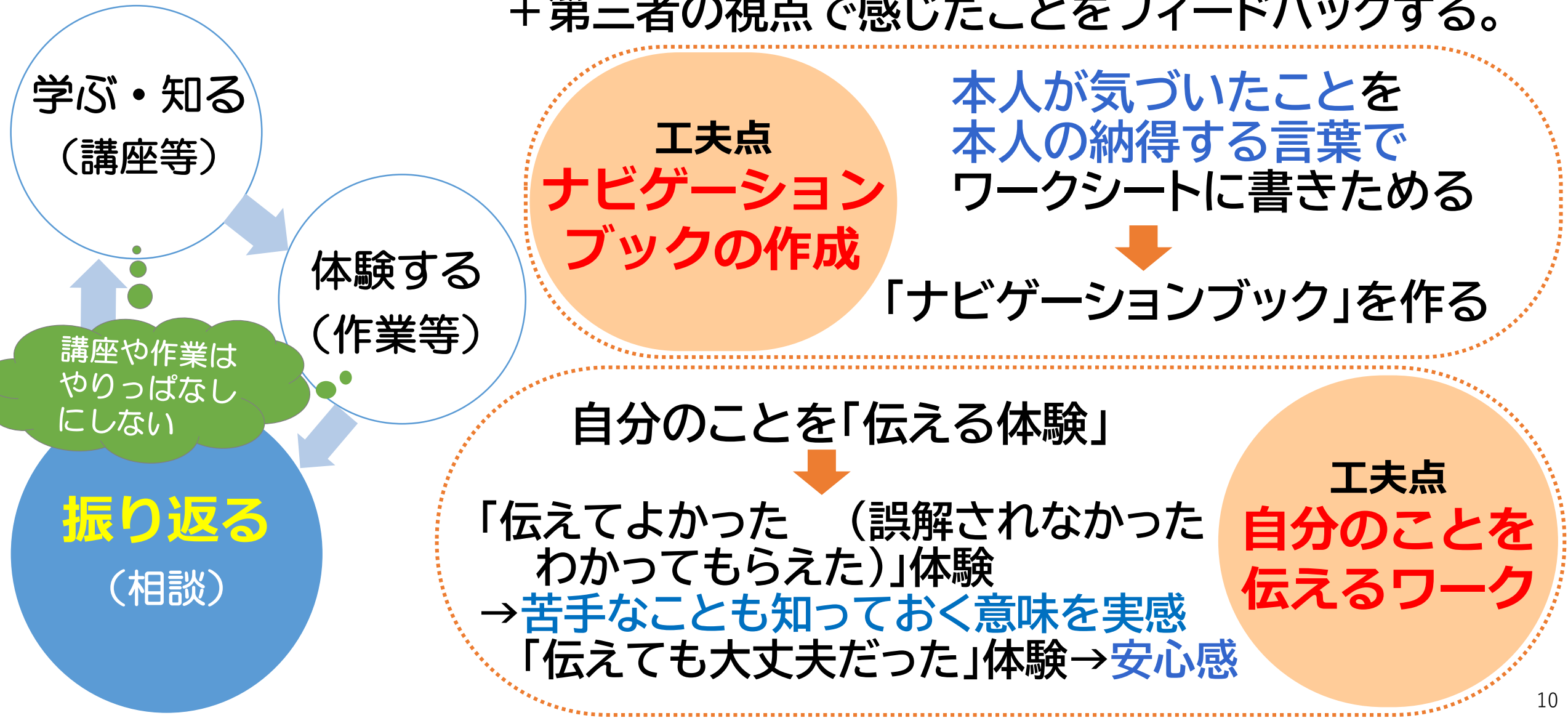
↓

就職活動や対処策の検討につながる

職業センターでの「学ぶ」  
「体験する」に活かせるように  
これまでに関わってきた人の  
情報を集める。  
→ 支援者が特性を理解すること、  
環境設定等に活かして  
「~したらできた」体験につなぐ

**工夫点**  
**色々な角度**  
**から情報を**  
**集める**

# ②-3 振り返る …「結果」と「そのプロセス(どう理解し、どう判断したか、したこと/しなかったこと等)」を一緒に整理する。 + 第三者の視点で感じたことをフィードバックする。



まとめ  
1

# 自己決定を支え、自己理解を深めるアセスメント

わからせようとする支援ではなく、わかろうとする支援

大切にしていること



就職や仕事を継続する力、モチベーションにつなげるためには

「強み」  
「できること」  
にも目をむける

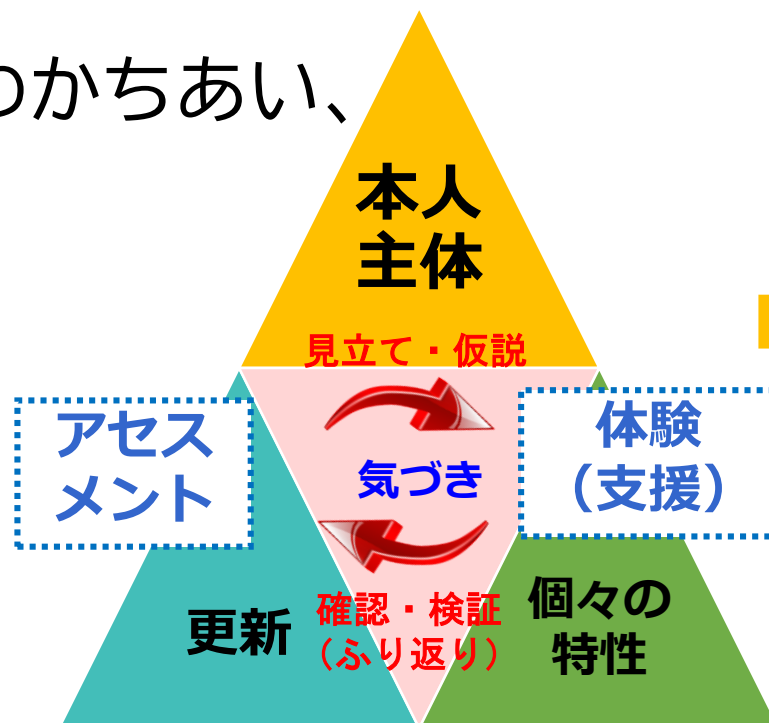


## □ 「気づく」「理解する」のは本人

アセスメントはあくまでも本人の気づきに基づいて本人の感じ方を知り、気づいたことを一緒にわかちあい、言語化していく支援。

就職や仕事を継続する力、モチベーションにつなげるためには

納得性が大事



## □ 自分の特性を本人の言葉でとりまとめる

→ 本人の情報。  
「ナビゲーションブック」の作成も活用できる。

まとめ  
2

# 自己決定を支え、自己理解を深めるアセスメント

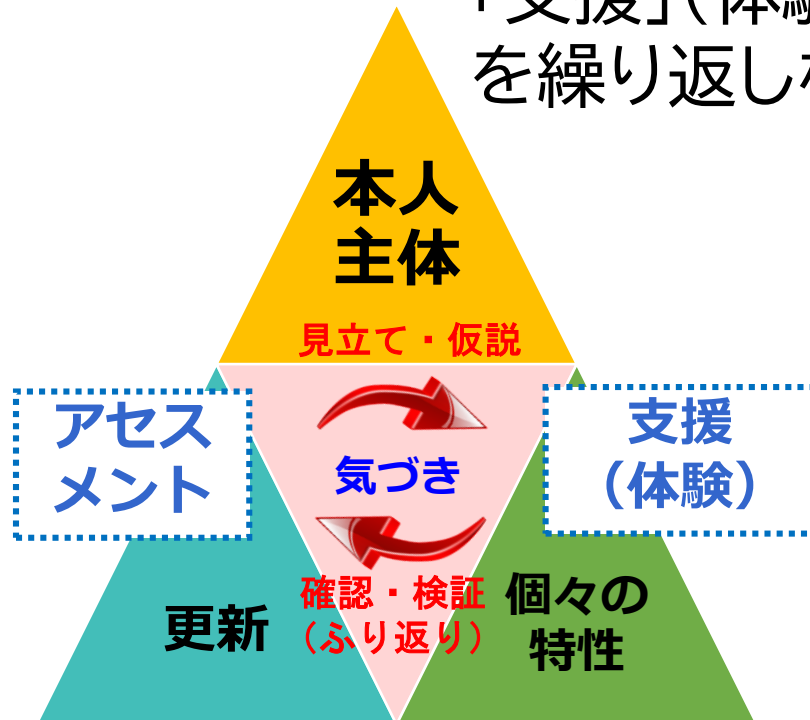
- 「アセスメント」は一度やって終わりではない。「アセスメント」と「支援」は連動する。

→ 支援者の見立ては「**仮説**」にすぎない。「支援」(体験)して、その後の**確認・検証**を繰り返しながら深め、「支援」につなげる。

観察 + **コミュニ**  
**ケーション** が大事



理解の仕方、感じ方など行動の背景は本人に聞いてみないとわからないことが多い



- 環境の変化にあわせて更新する (バージョンアップ)

→ 「できること」「対処していること」「会社に配慮を得たいこと」は、職場環境、担当する仕事の内容など場面に応じて変わることがある。

楽しく、はたらく、ともに

# JEED アセスメントに活用できる支援マニュアル等がダウンロードできます

□ 本日よりご紹介した、「ナビゲーションブック」や「就労支援のためのアセスメントシート」等について詳しく知りたい場合は、以下のホームページからダウンロードできます。

障害者職業総合センター研究部門ホームページ  
<https://www.nivr.jeed.go.jp/>



□ 他にも「アセスメントに活用できるツール」がたくさん掲載されています。精神障害・高次脳機能障害・発達障害者の就労支援において私がよく活用しているものの一例をご紹介します。



ストレスや疲労とのつきあい方を考える参考になる情報を集めるのに活用できるシートが色々あります。

- 自分の生活習慣、健康状態をチェックする
- ストレスや疲労の解消方法を考える



- 高次脳機能障害 特性チェックシート

※ご本人+ご家族、支援者とそれぞれの認識や気づきを確認する際に活用できます。

- **対処策リスト255**



- 特性チェックシート
- 情報処理過程におけるアセスメントの視点 (Ver10) 補足資料

※具体的なエピソード例、**対処の工夫例**からご本人の感じ方やエピソードを確認する際に活用できます。

支援マニュアル No.18  
発達障害者のアセスメント  
(2019年3月)

実践報告書 No.40  
高次脳機能障害者の復職におけるアセスメント(2022年3月)

マニュアル、教材、ツール等 No.33  
幕張ストレス・疲労アセスメントシート MSFASの活用のために(2010年3月)